

ハイスピード工法が1.8倍に 液状化対策でも注目集める

ハイアス・アンド・カンパニー



ハイスピード工法の全国大会で講演する藤井衛東海大学教授

ハイアス・アンド・カンパニー（東京都、濱村聖一社長）が本
部となって全国展開している地盤改良「ハイスピード工法」は、
今年3〜8月の6カ月間の施工実績が前年同期比で約1.8倍に
増加した。

ハイスピード工法は、盤改良だけでなく、地
天然砕石をピストンバ 震時の液状化を排水効
ルフによりスピーディ 果で阻止することがで
に施工できる工法。地 き、東日本大震災時に

効果が認めら
れ、問い合わせ
せが急増し
た。従来ハイ
スピード工法
でも、砕石の
間に一時的に
水をためる機
能があった。
この機能が噴
砂を防ぐこと
につながらり、
被害を防いだ。そこで
同社は、さらに液状化
を抑制するため、建物
基礎の下に加え、周辺
にも長めの砕石パイル
を施工、基礎と砕石パ
イルの間に砕石を敷く
手法や基礎下と建物周
囲に砕石を敷く施工法
も導入した。

の効果も期待され、震
災以降、設計依頼棟数
は4倍に増加した。昨
年11月から今年8月末
までの総施工メートル
2位に英重機工業（群
馬県太田市、172・
6棟相当）、三和ホー
リング（富山市、16
0・9棟相当）が表彰
された。

07年4月に工法普及
を始め、約4年半で全
国160社のネットワ
ークを構築し、今年7
月末までに累計800
0棟の施工を達成し
た。液状化対策として